

# 技術・家庭【家庭分野】

家庭分野においては、生活や社会の中から問題を見いだして解決策を構想し、実践を評価・改善して、新たな課題の解決に向かう過程を重視した学習の充実を図ることが大切です。

## ◆ 「内容のまとめり」の考え方

家庭分野における「内容のまとめり」は、学習指導要領の「第2 各分野の目標及び内容」「2 内容」に次のように示されています。

(例)〔家庭分野〕※一部抜粋

- A 家族・家庭生活
  - (1) 自分の成長と家族・家庭生活
  - (2) 幼児の生活と家族
- B 衣食住の生活
  - (1) 食事の役割と中学生の栄養の特徴
  - (2) 中学生に必要な栄養を満たす食事
- C 消費生活・環境
  - (1) 金銭の管理と購入
  - (2) 消費者の権利と責任

## ◆ 内容のまとめりごとの評価規準の作成

①学習指導要領に示された教科及び分野の目標を踏まえて、「評価の観点及びその趣旨」が作成されていることを確認します。

※「評価の観点及びその趣旨」は、巻末の「学習評価等に関する参考資料のリンク集」に掲載している「改善等通知」(別紙4 18ページ)を参照してください。

②家庭分野における「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係を確認します。

※「A家族・家庭生活」の(1)及び(4)、「B衣食住の生活」の(7)、「C消費生活・環境」の(3)は、指導事項Aのみで構成されていることから、A(1)の評価の観点については、「知識・技能」、A(4)、B(7)、C(3)の評価の観点については、家庭や地域などで実践を行い、課題を解決する力を養うことから、「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」であることに留意します。

③観点ごとのポイントを踏まえ、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成します。

※「観点ごとのポイント」は、巻末の「学習評価等に関する参考資料のリンク集」に掲載している「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料「中学校技術・家庭(30ページ)」を参照してください。

【「B 衣食住の生活(4) 衣服の選択と手入れ」の内容のまとめりごとの評価規準(例)】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。	衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ※必要に応じて分野別の評価の観点の趣旨のうち「主体的に学習に取り組む態度」に関わる部分を用いて作成する。

## ◆ 題材の評価規準の作成

家庭分野では、題材の設定に当たって、各項目及び各項目に示す指導事項との関連を見極め、相互に有機的な関連を図り、系統的及び総合的に学習が展開されるよう配慮するとともに、各項目に配当する授業時数と履修学年については、生徒や学校、地域の実態等に応じて、各学校において適切に定めます。

そのため、実際の指導に当たっては、履修学年を踏まえて、「題材の目標」及び「題材の評価規準」を作成した上で、学習指導要領解説の記述を参考にすることで、「題材の評価規準」を学習活動に即して具体化することが必要です。

【第2学年「健康・快適で持続可能な衣生活」の題材の評価規準(例)】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 ・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

【学習活動に即して具体化した「題材の評価規準」(例)】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B(4)	・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用について理解している。 ・衣服の適切な選択について理解している。	・健康・快適で持続可能な衣生活を送るために、衣服の選択、日常着の手入れ、衣服等の再利用などについて問題を見いだして課題を設定している。	・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。

## ◆ 学習評価に関する事例

### 1 題材名

「健康・快適で持続可能な衣生活」

### 2 内容のまとめ

第2学年 「B衣食住の生活」(4)衣服の選択と手入れ (5)生活を豊かにするための布を用いた製作 (全14時間)

### 3 題材の目標

- (1) 衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択、衣服の計画的な活用の必要性、日常着の手入れ及び製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- (2) 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (3) よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

### 4 題材の評価規準

※前ページ【第2学年「健康・快適で持続可能な衣生活」の題材の評価規準(例)】を参照

### 5 指導と評価の計画(14時間)

※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

小単元名 (時数)	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法	【POINT】
目的に応じた衣服の選択 (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康・快適で持続可能な衣生活を送ることについて問題を見だし、課題を設定することができる。</li> <li>・小学校での学習や、今までの経験から、衣服を選ぶ際に困ったことや、失敗したこと等の問題を見だし、課題を設定する。</li> <li>・毎日着る制服は、どのように手入れをしているのか、また、どんな手入れの方法があるのかを考える。</li> <li>・着なくなった制服の再利用などについて考える。</li> </ul> <p style="background-color: yellow; border: 1px solid black; padding: 2px;">健康・快適で持続可能な衣生活を送るためには、どのようなことが大切なのだろう</p>			○ ○	・学習カード	【POINT】 題材の始めに、「健康・快適で持続可能な衣生活」を送るための「題材全体を貫く課題」を設定するとともに、三つの問題解決的な学習を設定し、繰り返してその解決を図る構成とします。
日常着の手入れと保管 (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○衣服の状態に応じた日常着の補修の仕方について理解し、適切にできる。</li> <li>・小学校で学んだ縫い方を振り返る。</li> <li>・まつり縫いとこれまで学習してきた縫い方を比べ、まつり縫いの特徴についてまとめる。</li> <li>・まつり縫いによる裾上げ、スナップ付けなどの補修について、その目的と布地に適した方法を考え実習する。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーテスト</li> <li>・行動観察</li> <li>・ポートフォリオ</li> </ul>	【POINT】 まつり縫いやスナップ付けなどは2回行い、例えば6時間目を「指導に生かす評価」(「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への手立てを考えるための評価)とし、7時間目を「記録に残す評価」とします。
生活を豊かにするものの製作 (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○衣服等を再利用し、自分の生活を豊かにする物の製作計画について考え、工夫するとともに、製作することができる。</li> <li>・再利用する衣服等の素材や特徴を生かして、自分の生活を豊かにする物の製作計画を立てる。</li> <li>・製作計画に沿って製作する。</li> <li>○衣服等を再利用した製作について振り返り評価したり、改善したりすることができる。</li> <li>・製作した作品について、自己評価する。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーテスト</li> <li>・行動観察</li> <li>・ポートフォリオ</li> </ul>	【POINT】 衣服等を再利用した製作について振り返る場面など、適切に学習状況を把握できる評価場面を設定し、製作計画・実践記録表の記述内容や再利用の作品から評価します。
持続可能な衣生活をめざして (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○再利用の作品について発表するとともに、これまでの学習から、健康・快適で持続可能な衣生活を送るために大切なこと(衣服の選択、日常着の手入れ、衣服等の再利用について)をまとめることができる。</li> <li>・友達の作品を見て、よいところを相互評価し、参考になるところをワークシートにまとめる。</li> </ul>		○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーテスト</li> <li>・行動観察</li> <li>・ポートフォリオ</li> </ul>	